

令和元年度

南部地域の高校生を対象とした 「地域への愛着や将来的な定住の意向に関するアンケート」 調査結果

将来的に地域に住み続けたい又は戻りたいと考えている高校生の割合：72.8%

三重県南部地域活性化局

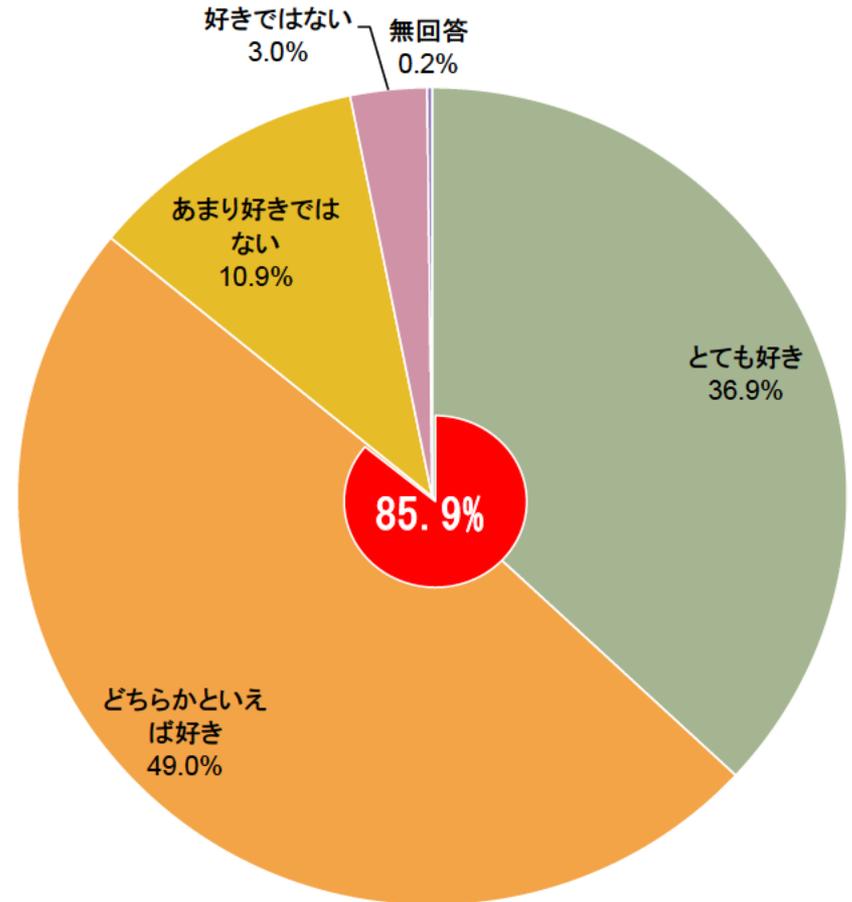
調査の概要

調査時期	令和元年11月～12月
調査対象校	南部地域に所在する全ての全日制及び定時制の高等学校17校並びに特別支援学校3校
調査対象者	2年生生徒全員2,628名(全数調査)
有効回答数	2,443名(有効回答率93.0%) ※うち住所地が南部地域である2,049名について分析しました

自分の住んでいる地域のことが好きですか

- 「とても好き」(36.9%)と「どちらかといえば好き」(49.0%)を合わせて、85.9%が
- 自分が住んでいる地域のことを好きと回答しています。

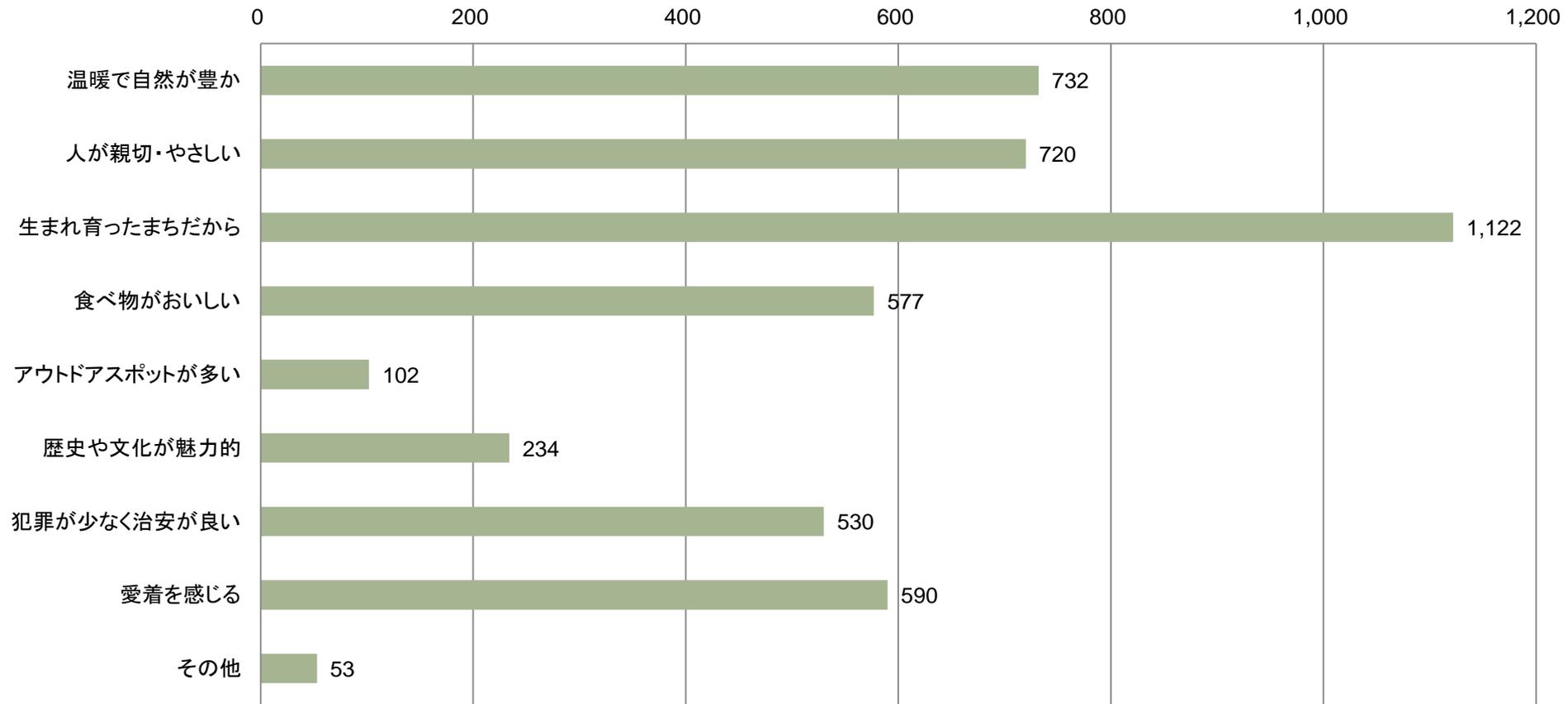
地域への愛着度	人数
とても好き	757
どちらかといえば好き	1,003
あまり好きではない	224
好きではない	61
無回答	4
総計	2,049



※端数処理の関係により各項目の合計値と表記は一致しないことがあります(以下同じ)

住んでいる地域が好きな理由を教えてください

- 自分の住んでいる地域のこと「とても好き」「どちらかといえば好き」と答えた生徒に対して、その理由を尋ねたところ、「生まれ育ったまちだから」が最も多く、次いで、「温暖で自然が豊か」、「人が親切・やさしい」が多くなっています。

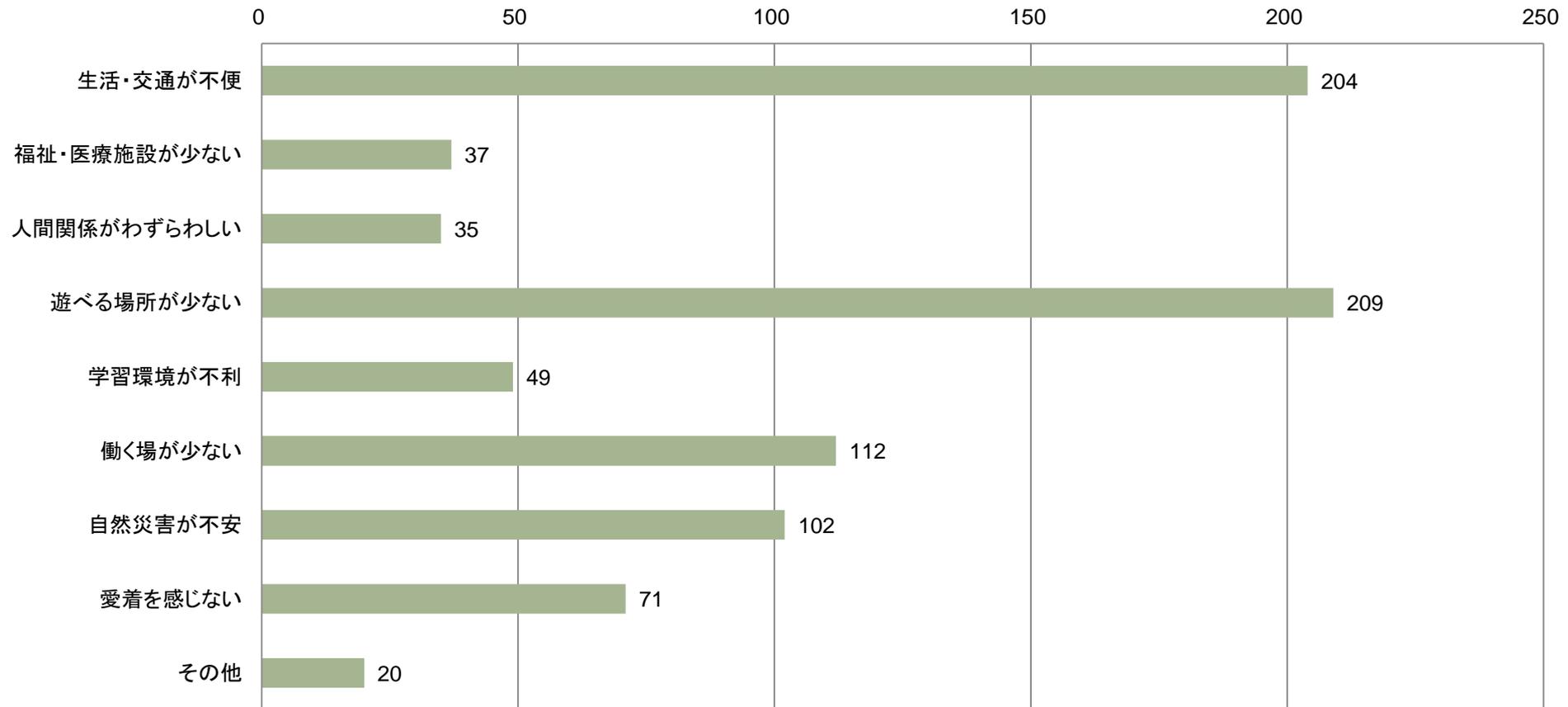


◆ 数字は件数。複数選択可。

◆ 「その他」…行事が楽しい、静か、星がきれいに見える、安心する、大好きな友達がいる、地域の人と助け合える、など

住んでいる地域が好きではない理由を教えてください

- 自分の住んでいる地域のこと「あまり好きではない」「好きではない」と答えた生徒に対して、その理由を尋ねたところ、「遊べる場所が少ない」と「生活・交通が不便」が他の理由に比べて圧倒的に多くなっています。



◆ 数字は件数。複数選択可。

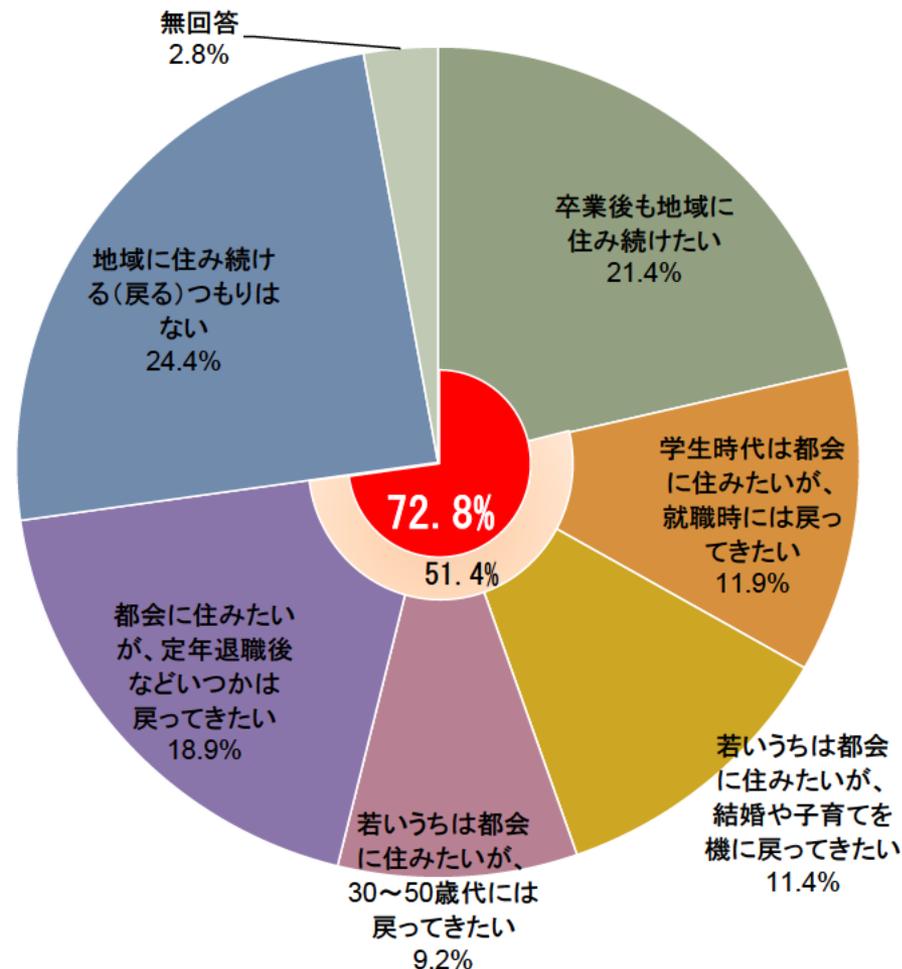
◆ 「その他」・・・田舎すぎる、治安が悪い、何も無い、店が少ない、親が好きじゃない、市町村合併で市になったから、など

現在住んでいる地域にこれからも住み続けたいですか

- ・「地域に住み続ける(戻る)つもりはない」が最も多く24.4%となっています。
- ・一方、「卒業後も地域に住み続けたい」(21.4%)、「都会に住みたいが、定年退職後などいつかは戻ってきたい」(18.9%)など、72.8%が将来的に南部地域で住みたいと考えています。

定住の意思	人数
卒業後も地域に住み続けたい	438
学生時代は都会に住みたいが、就職時には戻ってきたい	243
若いうちは都会に住みたいが、結婚や子育てを機に戻ってきたい	234
若いうちは都会に住みたいが、30～50歳代には戻ってきたい	188
都会に住みたいが、定年退職後などいつかは戻ってきたい	388
地域に住み続ける(戻る)つもりはない	500
無回答	58
総計	2,049

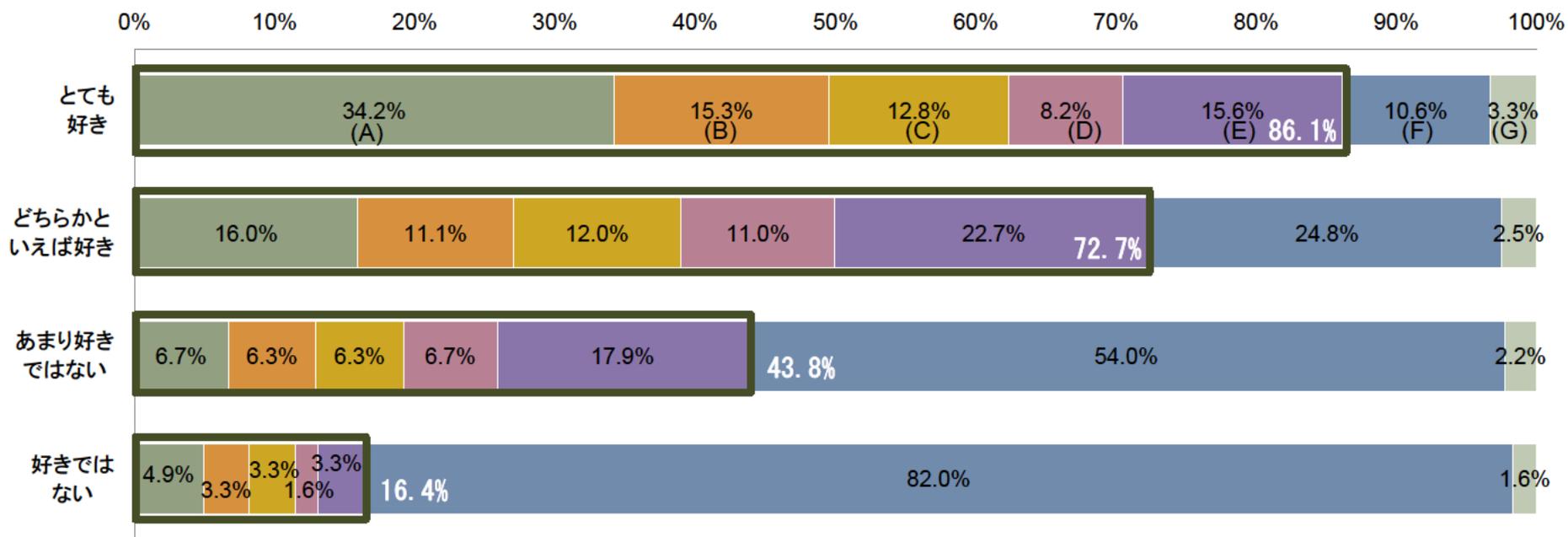
いったんは都会に住みたいがいずれは地域に戻ってきたい



現在住んでいる地域にこれからも住み続けたいですか (地域への愛着度との関係性)

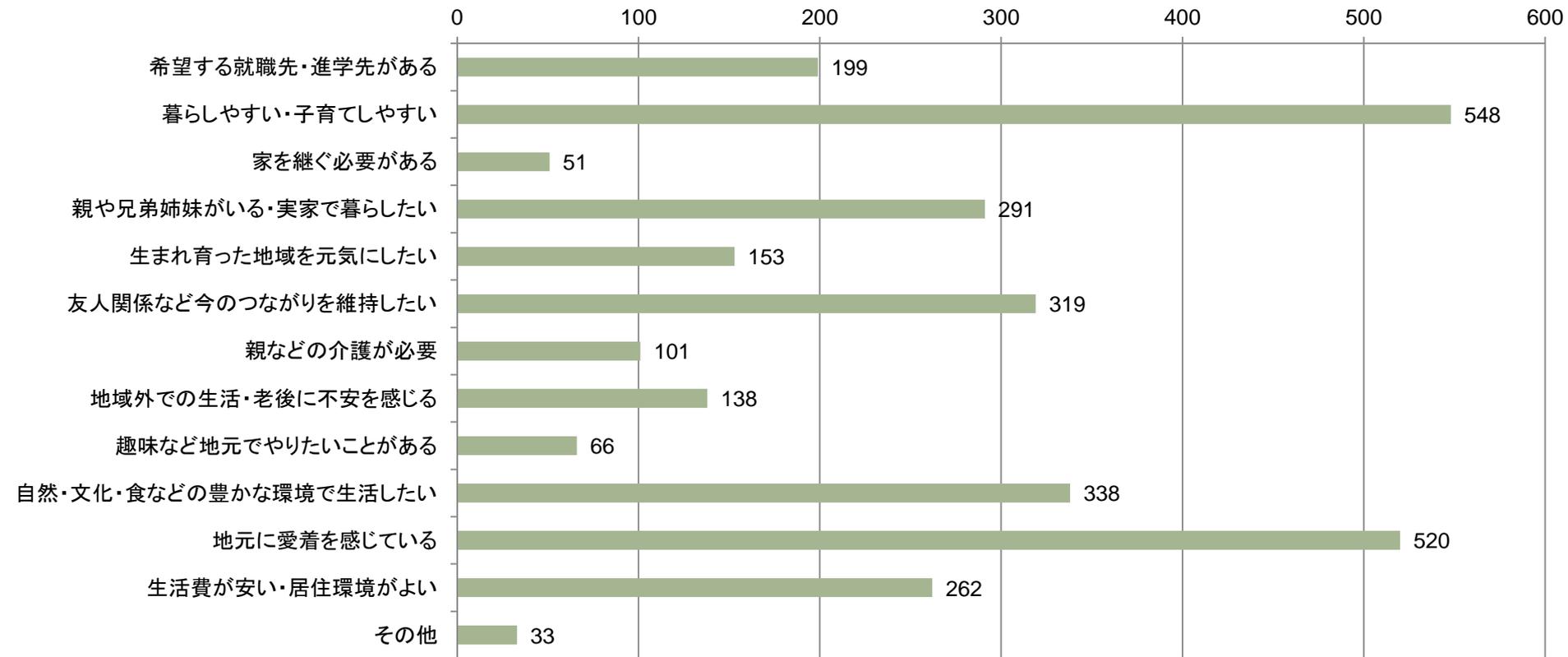
- 将来的に地域に住みたい・戻ってきたいと考えている割合((A)~(E))は、自分の住んでいる地域が「とても好き」と回答した生徒が86.1%と最も高くなっている一方、「好きではない」と回答した生徒は16.4%に留まっています。
- このことから、地域のことが好きであることと将来的に住みたい・戻りたいと思う気持ちには強い相関関係があると考えられます。

- 卒業後も地域に住み続けたい (A)
- 学生時代は都会に住みたいが、就職時には戻ってきたい(B)
- 若いうちは都会に住みたいが、結婚や子育てを機に戻ってきたい(C)
- 若いうちは都会に住みたいが、30~50歳代には戻ってきたい(D)
- 都会に住みたいが、定年退職後などいつかは戻ってきたい(E)
- 地域に住み続ける(戻る)つもりはない(F)
- 無回答 (G)



住み続けたい又は将来的に戻ってきたい理由を教えてください

- 地域に住み続けたい又はいつかは戻ってきたいと答えた生徒に対し、その理由を尋ねたところ、「暮らしやすい・子育てしやすい」が最も多く、次いで「地元で愛着を感じている」となっています。
- 「友人関係など今のつながりを維持したい」「親や兄弟姉妹がいる・実家で暮らしたい」といった人間関係を重視する回答も多くなっています。

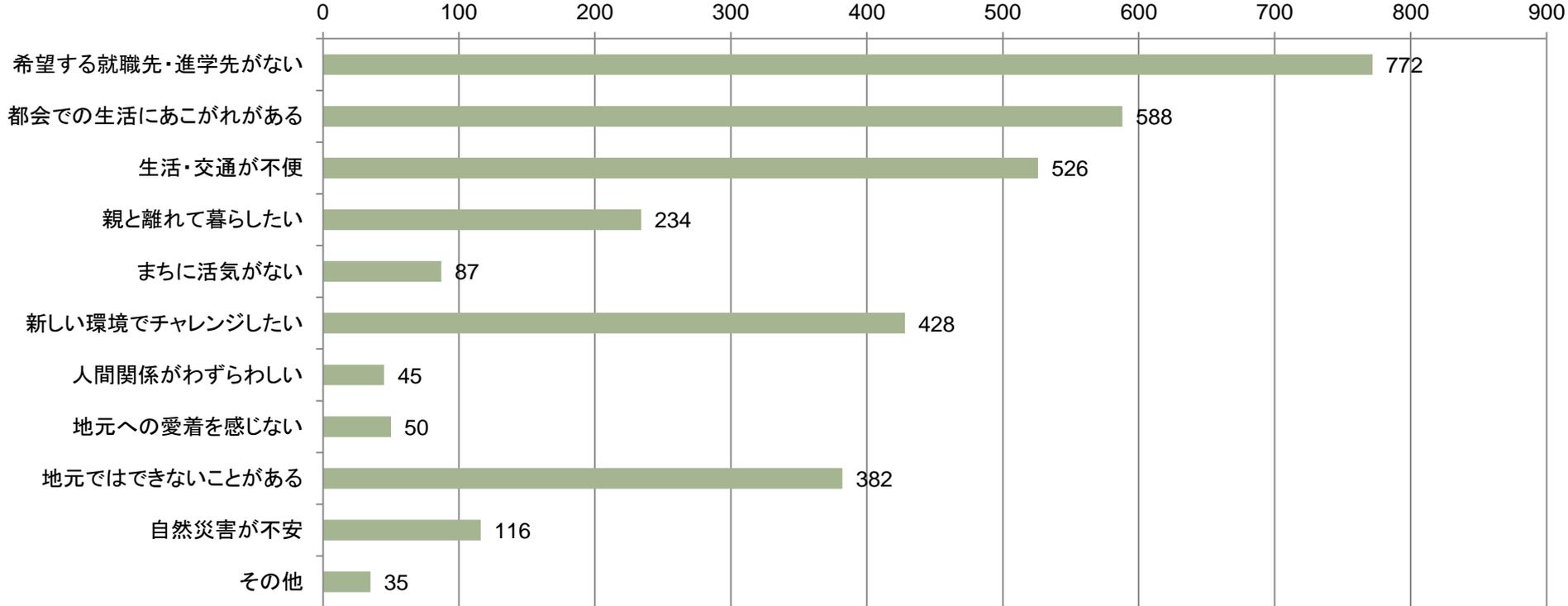


◆ 数字は件数。複数選択可。

◆ 「その他」・・・起業したい、のんびり暮らしたい、病気で親元を離れられない、都会があまり好きじゃない、など

今の地域から転出する理由を教えてください

- いったんは都会で暮らしたい又は地域に住み続ける(戻る)つもりはないと答えた生徒に対し、その理由を尋ねたところ、「希望する就職先・進学先がない」が最も多く、次いで「都会での生活にあこがれがある」、「生活・交通が不便」となっています。
- 「まちに活気がない」、「人間関係がわずらわしい」「地元への愛着を感じない」、といった地域へのマイナス面よりも、「新しい環境でチャレンジしたい」、「地元ではできないことがある」など都会での生活への期待感の方が主な理由となっています。

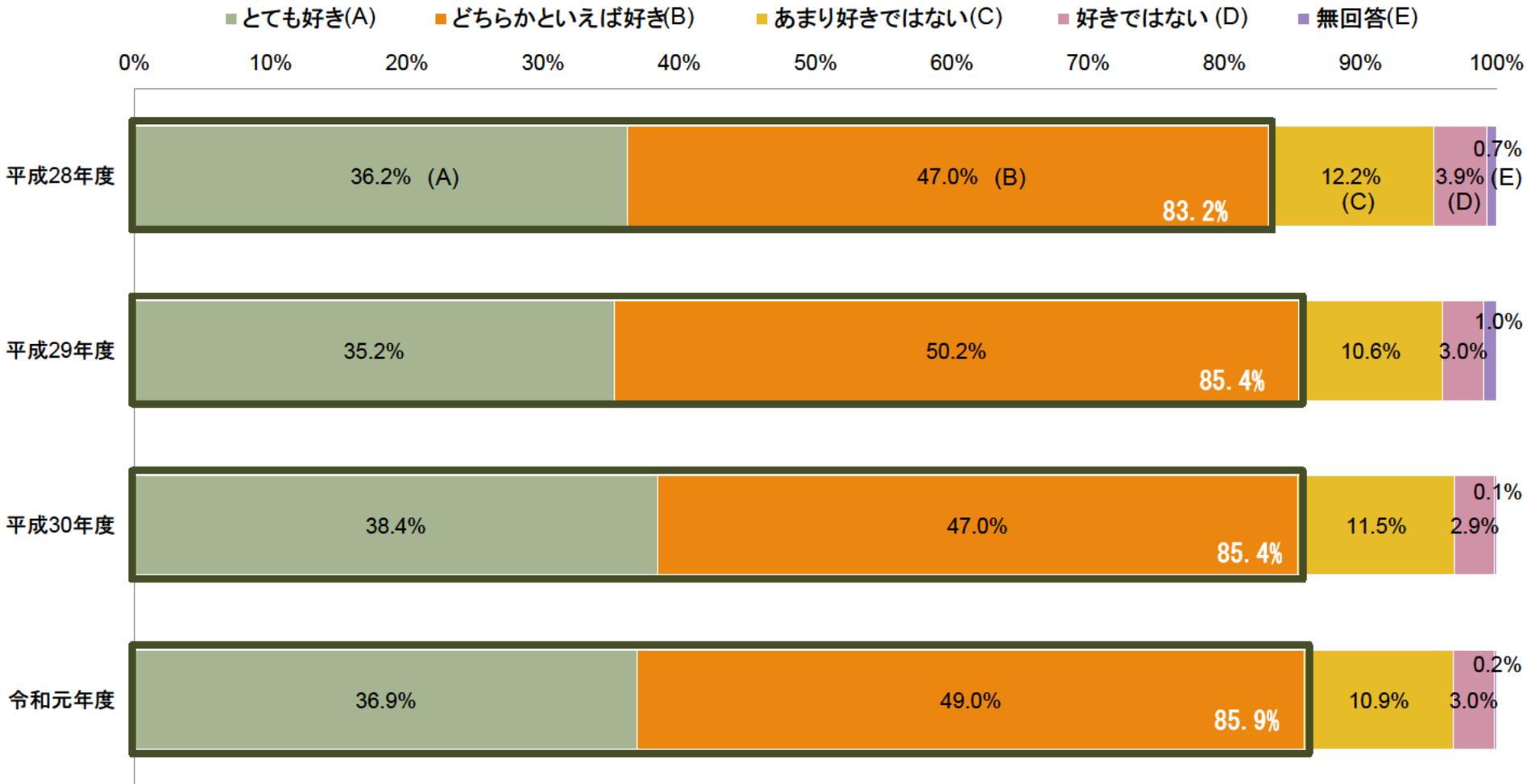


◆ 数字は件数。複数選択可。

◆ 「その他」・・・地域に飽きた、都会の方が色々な人と触れ合える、一人暮らしをしてみたい、両親の実家が他県にあるから、など

自分の住んでいる地域のことが好きですか(経年比較)

- 「とても好き」(A)「どちらかといえば好き」(B)が増加傾向にあります(平成28年度83.2%⇒令和元年度85.9%)
- 一方、好きではない(D)は減少傾向にあります(平成28年度3.9%⇒令和元年度3.0%)



現在住んでいる地域にこれからも住み続けたいですか (経年比較)

- 平成30年度までは「地域に住み続けたい」(A)が一番多く、「地域に住み続ける(戻る)つもりはない」(F)が2番目でしたが、令和元年度に(F)が(A)を上回りました。
- (B)～(D)の割合は同じ程度で推移していますが、「都会に住みたいが、定年退職後などいつかは戻ってきたい」(E)の割合が増加し続けています(13.0%→17.1% → 17.1% → 18.9%)。

- 卒業後も地域に住み続けたい(A)
- 若いうちは都会に住みたいが、結婚や子育てを機に戻ってきたい(C)
- 都会に住みたいが、定年退職後などいつかは戻ってきたい(E)
- 無回答(G)
- 学生時代は都会に住みたいが、就職時には戻ってきたい(B)
- 若いうちは都会に住みたいが、30～50歳代には戻ってきたい(D)
- 地域に住み続ける(戻る)つもりはない(F)

